

夕張市議会だより

2017年6月1日

第37号

議会運営委員会



平成29年2月20日
ゆうばり小6年生との意見交換会

平成29年第1回定例市議会

第1回定例市議会は、平成29年3月9日から22日までの14日間を会期として開催されました。

付議されたものは、議案37件・請願2件・報告3件・決議案1件・意見書案6件の審議を行い、別紙のとおり請願1件を除き原案通り可決・採択いたしました。

夕張市議会の果たすべき役割を念頭に
市民・行政・議会
一体となって

議案

- ◎平成29年度夕張市一般会計予算
- ◎平成29年度夕張市国民健康保険事業会計予算
- ◎平成29年度夕張市市場事業会計予算
- ◎平成29年度夕張市公共下水道事業会計予算
- ◎平成29年度夕張市介護保険事業会計予算
- ◎平成29年度夕張市後期高齢者医療事業会計予算
- ◎平成29年度夕張市水道事業会計予算
- ◎平成28年度夕張市一般会計補正予算
- ◎平成28年度夕張市国民健康保険事業会計補正予算
- ◎平成28年度夕張市介護保険事業会計補正予算
- ◎平成28年度夕張市診療所事業会計補正予算
- ◎平成28年度夕張市水道事業会計補正予算
- ◎夕張市議会議員及び夕張市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ◎夕張市特別職給与条例の一部改正について
- ◎夕張市教育長の給与に関する条例の一部改正につ

- いて
- ◎夕張市職員給与条例の一部改正について
- ◎退職手当支給条例の一部改正について
- ◎夕張市特別会計条例の一部改正について
- ◎夕張市税条例等の一部改正について
- ◎夕張市税条例等の一部改正について
- ◎夕張市営住宅条例の一部改正について
- ◎夕張市賃貸住宅条例の一部改正について
- ◎夕張市医療給付に関する条例の一部改正について
- ◎夕張市介護保険条例の一部改正について
- ◎夕張市介護給付費準備基金条例の一部改正について
- ◎夕張市立診療所及び介護老人保健施設夕張の設置並びに管理に関する条例の一部改正について
- ◎夕張市観光施設設置条例の一部改正について
- ◎指定管理者の指定について（五件）
- ・ゆうばり文化スポーツセンター、夕張市平和運動公園、夕張市清水沢プールの指定管理者として

- 特定非営利活動法人夕張市体育協会
- ・夕張市民健康会館の指定管理者として市民健康会館運営委員会
- ・夕張市老人福祉会館の指定管理者として社会福祉法人夕張市社会福祉協議会
- ・夕張市南部コミュニティセンターの指定管理者として南部コミュニティセンター運営委員会
- ・夕張市農業研修センターの指定管理者として夕張市農業研修センター運営委員会
- ◎夕張市監査委員の選任について
- 板谷 信 男氏
- ◎夕張市議会議員定数条例の一部改正について
- ・9名から1名減じ8名とする
- ◎夕張市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- ◎行政常任委員会副委員長の辞任について
- ◎議会運営委員会委員長及び副委員長の辞任について
- ◎行政常任委員会副委員長の選任について
- 副委員長 君 島 孝 夫 委員

ご意見・ご感想をお寄せください

本町4丁目市役所内
夕張市議会事務局
電話 52-3172
又は 52-3131
までお願いします。

編集委員

委員長 田川山間谷島葉
本今大高熊君千
長員 靖和修澄桂孝
員 人哉二子子夫勝
委員 委 員

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えるために、「夕張市議会だより」を発行しています。
市役所本庁・南支所及び各ふれあいサロンにも配布しております。

◎議会運営委員会委員長及び副委員長の選任について

委員長 本田 靖人 委員
副委員長 今川 和哉 委員

請 願

◎介護保険制度の見直しを求める意見書採択についての請願（採択）

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書採択についての請願（みなし不採択）

報 告

◎例月現金出納検査の結果について（平成28年度11月分～1月分）

意 見 書

◎介護保険制度の見直しを求める意見書（提出議員 熊谷・大山・本田・小林・君島・千葉）

◎過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業の拡充を求める意見書

◎指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書

（提出議員8名全員）

◎ホームドアの設置と内方線つき点状ブロックの整備促進を求める意見書

（提出議員千葉・大山・高間・本田・小林・熊谷・君島）

◎通学路の安全確保を求める意見書

（提出議員8名全員）

◎新に創設される給付型奨学金の規模拡充を求める意見書（提出議員熊谷・本田・小林・君島・千葉）

決 議

◎閉会中所管事務調査について

大綱質問と 答弁内容

今川和哉議員質問

【質】新たな認定こども園について

【答】新たな認定子ども園と、市内の保育園の将来像については、乳幼児数の動向、施設の老朽化などの課題を整理し、各関係機関と十分な協議をしながら、安全安心な子育て環境の充実を目指していきたい。

【質】「新たな人の流れ・交流人口の創出」について

【答】スポーツ合宿や文化系合宿など幅広い合宿の受け入れを進めていきたいと考えている。移住・定住へのつながりについては、まずはしっかりと交流人口・関わり人口を増やす施策を進め、その状況により移住政策を展開していきたい。また、観光施設の売却により、インバウンドの集客が今後広がるものと考えている。それを踏まえ、市の観光政策についても見直しをしていく必要性があると考えている。「合宿受け入れ」については、施設の予約、宿泊、お弁当の手配、貸切バスの手配など窓口の一元化を図ることにより、利便性が向上し、体育施設や観光施設及び合宿誘致などの促進が図られる。

【質】石炭博物館について

【答】石炭博物館は空知管内の旧産炭地域における産業遺産である炭鉱の記憶を後世に伝えていくためのデジタルセンター的な役割を担うもの。それらを目指すため、各市町保有の産業遺産を展示するための市町ブースの設置や、収蔵品が一覧できるデータベースの作成

等につき、今後関係機関と協議をしながら展開をしていきたい。

【質】「地域リーダーや地方創生の担い手の育成」について

【答】地域リーダーや地方創生施策を展開する人材のスキルアップや、他地域との交流をうながすため、平成29年度予算案に地域人材育成事業を計上している。地域リーダーの育成や、地方創生の担い手育成にかかる研修への参加、市の施策と連動して各種団体が主催する研修会の実施などにかかる費用の一部を助成する。

【質】「夕張の未来を創るプロジェクト」について

【答】地域外交流について、現在夕張高校にて、都立高校との交流を図っているほか、北海道大学の学生が夕張高校の生徒と一緒にまちづくりについてワークショップを開催しており、今後このような地域外との交流というものを推進していきたい。

【質】夕張高校の魅力化について

【答】各種資格取得検定や進学模擬テスト受講支援、スキー授業、進路にかかる後援

並びに高校生派遣などの実施をしてきた。北海道教育委員会との連携については、英語教育の充実にかける支援などについて現在協議検討しているところ。今後とも児童生徒数の減少が見込まれる中、夕張高校の存続は本市にとって最重要課題の一つであると認識をしている。夕張高校魅力化事業を継続しながら夕張高校のさらなる魅力化へ向けて取り組みを進めていきたい。

千葉勝議員質問

【質】教育行政を推進していくうえで基本的考えについて

【答】教育行政を推進していく基本姿勢でございますが、子どもたちの夢や地域づくりに、多くの方々のお力添えが必要なのは十分認識してございます。

私は、教育行政の先頭に立ち教育環境を整備し、市民誰もが住んでいて幸せを感じる街を築き、明るい未来、将来に向かって行政も議会も、全ての人が建設的な議論を交わして一歩を踏み出す姿を共有していかなければならないと思っています。

【質】コミュニティースクール（学校運営協議会）導入に向けた考え方について

【答】今日、学校が抱える課題を解決し、子どもたちに生きる力を育むためには、地域との連携、協同体制が組織的かつ継続的に確立される仕組みが重要でございませす。まさしく、コミュニティースクールが、このことを実現する事業であると確信をしております。この協議会の設置にかかわっては文科省、道教委の指定を受けるためにはなりません。そのため、平成29年度は、指定を受ける準備年度とし、平成30年度設立に向けて市民と機運を高めてまいりたいと存じます。

実を図っていくことに力点をおいて行きたい。

高間澄子議員質問

持続可能なまちづくりについて

【質】拠点複合施設の整備について

【答】拠点複合施設検討チームを市民と職員で構成し空間の有効活用、人の環境、可動性と開放感等の基本構想をまとめ今後基本計画を行う。

【質】老朽化した市立診療所の移転改築について

【答】市立診療所は清水沢地区に平成34年度の供用開始を目指すが社会医療法人からの支援の必要とへき地診療所の認定が重要となる。

【質】地域公共交通の見直しについて

【答】真谷地、楓、登川、滝の上地区との座談会やアンケート結果を踏まえデマンド交通などの小規模輸送が有効と考える。引き続き利用者、運行業者と話し合い最適なものを選択する。

【再質】社会医療法人制度活用で医師会との合意は得られているのか

【再答】医師会にも説明しており地域医療の確保について指定管理者も含め協議を進める。

本田靖人議員質問

【質】行政執行体制の見直しにおける人材の確保と育成について

【答】十分な職員採用数を計画に盛り込めなかったことは苦渋の決断であった。人材育成のために、既存職員が各種研修に参加できるように予算措置した。また、機構改革については、最小の人員で最大の効果を発揮できるように時間をかけて検討していく。

【質】地域公共交通の見直しについて

【答】子どもたちが公共交通を利用しやすい環境づくりに向けて、政策連携を図り割引施策の検討を進める。

【質】確かな学力を身につける教育の推進について

(1)全国学力テストの結果公表について
(2)ICT教育の充実について
(3)体力向上に向けた取り組みの推進について

【答】(1)全国学力テストの結果

については、平成29年度から公開していく。

(2)小学校に40台のタブレットを設置予定であり、これらを活用して英語の授業などを充実させたい考えである。

(3)専門的な大学の協力をいいただきながら、北海道の平均値まで子供たちの体力を向上させたい。

【質】健やかな心身を育む教育の推進について

(1)各種体育施設の指定管理者との連携について
(2)総合型地域スポーツクラブの推進について
(3)少年団活動や部活動の活性化について

【答】(1)施設運営の評価を実施し、毎年協議をしていく。
(2)担当する地域おこし協力隊が退職した後は、子ども子育て担当の協力隊員を派遣してフォローする。
(3)指導者の確保に力を注いでいく。また、夕張高校の施設の活用を協議していく。

熊谷桂子議員質問

1、若者の定住と子育て支援について

保育料、医療費の無料化について

【答】保育料は2子目以降全員無料化。医療費の収入基準は、児童手当と同基準。大多数の世帯が該当。

【質】「住宅ニーズの多様化や、住宅取得・リフォーム等への支援」の具体策について

【答】賃貸住宅の補助金は、家族向け等も検討。住宅取得やリフォーム補助は、転入者や子育て世帯に加算、市内業者が施行すると更に可算する。

2、地域資源を活用した働く場づくりについて

【質】ズリ山から石炭を産出する事業で雇用が増やせるか。市有林のカラマツの伐採、薬木植栽事業での雇用は。

【答】ズリ山から石炭を安定生産し、付加価値などで更なる雇用を目指す。また薬木は、平成27年度から植栽。下草刈りが10年程度、伐採・皮ハギが15年目から。その間、山林にクローバーを植え、ハチミツの生産をし、特産品としてブランド化する。

質 夕張メロンの新たな担い手事業について

答 就農希望者が地域おこし協力隊として、加工用メロンを生産し、技術指導により、夕張メロン生産の担い手になれるよう支援する。

3、地域公共 交通について

質 「小規模輸送を担う交通事業体で、交通体系を充実させる」ことについて

答 現在、路線バス、デマンドバス、スクールバスなど、人員が不足。NPO等で運行管理の一元化、運転手育成の機能も担い、中型・小型の需要増にも備える。

4、教育行政について

質 教育環境水準の引き上げについて

答 幼・小・中・高の学力向上に向けた対応の一体化、ICT教育の充実、英語教育の充実、学習塾との連携、コミュニティスクールによる学校支援の充実等で、教育環境水準が高まる。また、体育施設の指定管理により、利便性が高まり、総合型地域スポーツク

ラブの設立により、スポーツ・文化活動が身近となり、積極的な活動が展開される。

行政常任委員会 (予算審査)

平成29年度予算を 全会一致で可決する

平成29年度各会計予算と関連議案を審査する行政常任委員会(大山修二委員長)は3月17日に開催し、付託された一般会計予算案など19議案を審査しました。審査は冒頭、大綱的な質疑を行った後、一般会計予算案の歳出から款毎に順次会計の審査を行った結果、一般会計予算、5特別会計予算と水道事業会計予算、及び関連議案の19議案について全会一致をもって、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

大綱質問と 答弁内容

本田靖人委員質問

今後の財源の 確保策について

質 幸福の黄色いハンカチ基金の歳入繰り入れ額について

答 後年時計画においては、約1億円を歳入に繰り入れることを予定している。

質 ふるさと納税の具体的確保策について

答 今年度のふるさと納税は3億円を超えたところである。財政計画の抜本的見直しによって支援が減少するとは考えていない。また、市民の皆様における納税制度や活用方法についてご説明するとともに、パンフレット等を活用した周知を行っている。

質 ハンカチ基金の有効活用について

答 今後のふるさと納税は、「物から事へ」と変わっていくと言われている。ふるさと納税を有効活用して、まちの景色を変えていくなど、寄付者に対し可視化していくことが重要であると考えている。

今川和哉委員質問

夕張市の創業 支援事業について

質 創業支援事業の目的について

答 創業支援事業の具体的な目的については、市内の産業振興、雇用の促進、定住の促進を図ることを目的としている。新規創業者および市内の事業者であって、事業を拡大する者に対して、その初期投資にかかる費用を助成することを考えている。

質 市内事業者の二次創業について

答 市内事業者の二次創業や移転改築などについて、事業を拡大する事業者を対象としているので、事業を拡大する場合については対象となるが、単に移転改築を行うことについては対象とはならない。

質 支援事業の周知について

答 創業支援事業の周知方法については、支援機関である商工会議所や、金融機関の窓口パンフレットを置く方法で広報を行う。

質 現在の市内創業状況と課題について

答 夕張市内について今現在、創業者は多い状況ではない。これからどのような形で事業をされる方がいるかは調査をしていきたい。新しく観光施設の運営につ

いても事業者が決まるなどの変化もあるので、市全体の様子を見ながら考え、課題の整理を行っていきたい。

質 認定の方法について

答 今回は広く応募を募りたいと考えている。事業計画認定委員会というものを作り、その中で事業を発表いただき、その内容によって、認定を決める方法をとる。助成の金額については、上限100万円と考えているが、事業の内容によって上限内にて金額は変わるものである。

高間澄子委員質問

質 「地域おこし企業人」交流プログラム事業の概要について

答 国は定住促進や条件が不利地域を有する市町村に対し、三大都市圏に勤務する大企業の社員が市の業務に従事し地域の魅力と都市からの人の流れを創出するもので、期間は1年から3年とし、掛かる経費は上限はあるが特別交付税となる。企業に於いては新しい形の社会貢献であり多彩な経験を積ませることで人材育成

に繋げる。

市は人口急減社会など地域の課題解決に企業の持つ専門知識、業務経験、人脈、ノウハウの活用や外部の視点、民間感覚を得ながら取り組みを展開する。

活動事例では滞在型観光や外国人観光客誘客、商品開発や運営に従事又特産品販売時に対する助言、既存事業の分析や検証、今後の方向性についての提案などがある。

質 社員派遣に至るまでのスケジュールや想定している企業と予定している活動の内容について

答 今後決めて行く。

千葉勝委員質問

質 生活困窮者自立支援法の学習支援事業の概要、実施時期、方法、対象者の見込み数について

答 平成27年4月1日施行された「生活困窮者自立支援法」の生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」で、生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援等を行う事業で、将来の進路選択の幅を広げて自立して生活を送れるようにしていくこ

とで、貧困の連鎖を断ち切るための取り組みでありま

す。実施時期については、4月以降希望する世帯との面談を行い、学習支援事業への参加等についてのニーズ調査し実施する予定です。実施方法については、実施場所（地域）や学習支援事業内容については、専門知識を持った者に業務委託をするかも含めて現在検討中です。

熊谷桂子委員質問

1、夕張高校の魅力化事業について

質 「資格取得」支援の具体的内容、通学支援等の具体的な方策と、経費の概要について

答 高校生の将来に必要な資格を取得する際の費用を半額補助。英語・漢字・珠算・簿記事務等の各検定が対象。予算額は32万7千円。

通学支援は、保護者の負担を減らすとともに、今からバス通学に慣れてもらうために、新年度から通学バス料金の全額を補助する。バス（平日）定期券で328万8千円、土日分として82万

6千円。

2、嘱託職員、臨時職員の待遇改善について

質 嘱託職員の報酬と通勤手当は、どのように改善したのか。

答 一般事務で、大卒初任給を超えない、再任用職員の給与を超えない額で、1日の勤務時間の割合から、基本報酬月額を14万2500円とした。また、専門性や資格が必要な職種や職責に応じて、近隣市町村とも比較して、最大6万8100円の増額とした。また、通勤手当は、通勤距離によって、職員の通勤手当と同額を支給する。

君島孝夫委員質問

農業振興対策 連携事業について

質 産地力アップに向けた次世代経営者等育成支援及び夕張メロン地理的表示登録に係る広報展開と事業者及び経費の概要について

①交付金は何時頃まで行うのか。
②本年度の労働実態調査をどの辺の地域を考えているのかについて

のかについて

答 交付金は、平成29年から31年まで実施する。先進的な市町村、産地への事例調査、外部講師を招いての研修会の開催などを検討している。また、夕張メロン生産基盤対策事業として夕張メロン生産安定対策事業に7千万円、夕張メロン加工用原料の安定供給に向けた生産基盤支援事業として8千万円、農業労働力の雇用問題解決に向けた実態調査費として98万円。夕張メロンポスター作成費補助として59万7千円で、合計額1676万6千円を計上した。

労働実態調査は、富良野市と沼田町を予定している。

小林尚文委員質問

夕張市介護保険事業 会計予算について

質 財政安定化調整基金からの借入するに至った経緯と主な原因について

答 給付費に対し、収入不足が最大4169万7千円と見込まれたことから補正を行った。主な原因は、第1号被保険者の急激な減少に

より保険料収入が減少したことと、給付費の増加である。

質 財政安定化調整基金の限度額と平成29年度予算において収支不足が生じた場合の対応について

答 制限により、貸付額の限度額が定められている。

平成29年度の不足額を4千594万2千円と最大限で見込んで予算計上した。

質 平成28年度と平成29年度に借入れた財政安定化調整基金の償還について

答 次期介護保険事業の運営期間になる平成30年度から平成32年度までの間に保険料を財源として償還する。

質 次期計画期間で保険料を財源とした返済となると被保険者の負担増と推察されるが、その認識と市民周知についての考えについて

答 次期の介護保険料については、今後、客観的なデータに基づき試算していくが、その根拠については、今後の作業となる。次期の介護保険料がある程度見込みに達した段階で議会などを通じて市民周知していきたいと考えている。

議員定数を9人から8人とする 条例改正を行いました

平成29年第1回定例市議会では、議員定数を現行の9人から、1名減じ8人とする条例改正を行い、全会一致で可決しました。平成31年に実施される市議会議員選挙から適用されます。

夕張市議会における議員定数、また議員報酬については、平成28年2月から議論をしてまいりました。

同時に昨年3月4日には「夕張市の再生方策に関する検討委員会」から、財政再建10年を振り返り、今後の再生のあり方の検討に基づき、「従来以上に地域再生の側面を重視した財政再生計画へと収支計画を全面改定することの必要性」などが盛り込まれた報告書が市長に対して手交され、平成28年度は、「財政再生計画の抜本見直し」が進められました。

市議会も議会関係経費の将来推計を取りまとめる必要があり、その期日までに議員定数や議員報酬の今後の在り方について、結論を出すべく、議論を行ってま

いりました。

また、これらについては平成28年6月に3会場において、市議会として現在議員定数や議員報酬に関する議論を行っていること、また各議員の意見公表を通じて、市民の皆様のご意見もお伺いし、今後の議論の参考とさせて頂くこととし、最終的には議員会議における賛成多数により、議員報酬については「現状維持」、議員定数は現在の定数から1減とすることを（条例改正を行うこと）決定しました。

また、条例改正案の提出に向けて、平成29年2月には議会報告会を開催し、議論の経過報告などをさせて頂き、ご参加の皆様からも賛否に関わるご意見を頂いてまいりました。

財政再生計画の抜本的見直しと同時に、議員定数や議員報酬に関する方針を定めるという作業は、平成18年度以来のことと思われるですが、議会内でも賛否意見を交わしながら、議論をし

てまいりました。

私たち市議会も今期折り返しを過ぎたところですが、引き続き「二元代表制の一翼を担う機関」として、地域経営の責任にたち、また来期以降において、定数が減となった後も、機能を落とさぬような活動の在り方について、議論・実践し、広い視点で議会活動を展開してまいります。

市民の皆様のご理解を重ねてお願い申し上げます。

栗山町議会・

夕張市議会合同研修会

平成29年2月21日一般社団法人らぶらす（旧夕張小）研修室において、栗山町議会との合同研修会を行いました。

◆厚谷夕張市議会議長

○財政再生計画の抜本的な見直しについて

①夕張市の再生方策に関する検討委員会報告に関する件
②議員定数・議員報酬に関する件

○行政常任委員会行政視察（市内・市外）に関する件

○市民懇談会と各種団体との意見交換会に関する件

◆本田夕張市議会議員

○ゆうばり小PTAとの意見交換会（PTAとの共催で実施）について

実施にあたり対面型の形式ではなく、四つのグループに分かれて議員がそれぞれのグループに入り行った。また、グループ制にすることにより様々な意見が出たが、夕張市の現状ではその場で結果を出すことが困難なことから、その後の本会議において意見交換会で出された内、数件の意見を基に一般質問を行った。

◆藤本栗山町議会議員

○栗山町議会基本条例の見直しについて

議会基本条例・自治基本条例・栗山町総合計画の策定と運用に関する条例間の整合性の調査を実施しながら、議会モニタリング会議・パブリックコメントを実施した。また、栗山町議会改革検討特別委員会を設置し、議会報告会でも意見聴取しさらには、専門的知見（神原北大名誉教授）等を実施した。

○栗山町地酒乾杯条例について

栗山町で生産された酒米により栗山町で製造された

日本酒による乾杯の習慣を広め地酒の普及促進を図り、地域資源の掘り起こしと情報発信による地域の活性化を図ると。

◆夕張市建設農林課農林係長 武田信仁氏

○薬木の産地化に向けた取り組み 『新たな地域産業資源創出への挑戦』と題して①夕張市の森林資源の現状と特徴について②カラマツについて③地域の課題解決としての薬木の産地化について④獣害対策について⑤薬木の産地化の今後の展開についての講演をいただきました。

